

新潟摂食嚥下ネットワーク懇談会による

「新潟嚥下えんげ手帳」が出来上がりました！

新潟摂食嚥下ネットワーク懇談会は、新潟市で摂食嚥下に関する活動をする地域の団体が、新潟市医師会、新潟市歯科医師会、大学と協力して連携の強化をはかり、摂食嚥下障害の診療・ケアの質を高める目的で2019年10月に設立されました。会長は新潟大学歯学部の井上誠教授です。

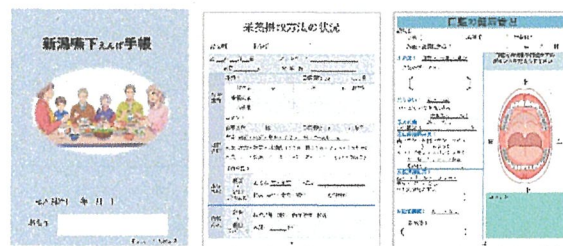
懇談会では、次の3つの活動が行われています。

- ① 摂食嚥下に関する情報共有様式の作成
- ② 医療機関・施設の食事形態一覧表の作成と公開
- ③ 摂食嚥下診療機能に関する地域資源の集積と公開

この手帳は、①の活動として作成されたもので、病院や診療所で摂食嚥下障害と診断された方、またはその可能性があると思われる方が、ご自身の状態や日常生活で気を付けることについての情報を、サポートする多職種から記入してもらい、皆で情報共有することが目的です。

患者さんの大切な情報として、患者さん自身かご家族が保管し、いつでも提示してサポートに携わるスタッフが記入や閲覧ができるようにしてもらってください。また、ケアマネジャーや利用する施設、入院先のスタッフに手帳があることを伝え、必要な情報の記入をお願いいただければと思います。

この手帳が嚥下障害を持つ患者さんがいつまでも元気でおいしいものが食べられる一助となることを祈っています。



新潟市摂食嚥下ネットワーク懇談会 共通情報様式検討グループ一同